

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	舗装補修マネジメント事業				シート番号	019-002
担当部署名	建設	局	土木	部	土木監理	課 評価責任者(課長名)
						林

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 23 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	道路法			
	4	関連計画	堺市公共施設等総合管理計画			
5	事業実施の経緯	道路の舗装は今後急速に老朽化が進むことが予想され、維持管理費の増大が懸念されるため、市民の安全・安心を確保するには、舗装の長寿命化と補修予算の平準化が必要である。このため、市内の幹線道路等を対象として計画的な補修を進めており、平成29年度には堺市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を策定した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (各地域整備事務所) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民及び道路利用者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	道路の舗装は今後急速に老朽化が進むことが予想され、維持管理費の増大が懸念される。このため、路面性状調査による点検結果を基に計画的な舗装補修を行うことで、舗装の長寿命化や補修費用の縮減、平準化等を図りながら、舗装を健全な状態に保つことにより市民の安全・安心を確保する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市内の幹線道路等(約323km)について、道路舗装面のひび割れ等の定期的な調査(路面性状調査)を行い、損傷が進行する前に計画的に補修する予防保全の概念を取り入れた維持管理を進める。 ・ひび割れ等の定期的な調査:平成22年度以降、5年に1度の頻度で実施。次回は令和2年度実施予定。 ・補修箇所:交通量の多い緊急交通路や幹線道路を中心に、4km/年を目標に舗装補修を実施。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
10	直接実施以外の主な支出先	委託業務、工事発注の受注者				

Ⅲ. 投入量

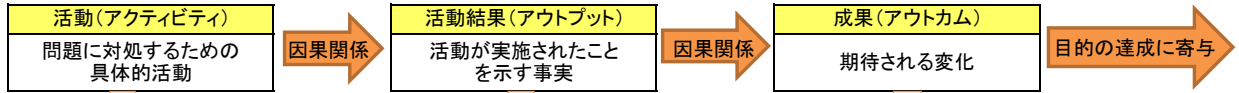
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	733,125	736,020	816,900	611,943	907,031	647,848	1,162,000	
	主な事業費内訳	計画策定等委託料	千円	35,625	31,500	34,900	26,965	56,800	29,414	127,000
		舗装補修工事	千円	697,500	704,520	782,000	584,976	850,231	618,434	1,035,000
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円	99,000	138,432	75,000	54,519	90,000	30,000	119,000
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円	548,900	527,300	647,800	483,300	726,100	595,600	907,000
その他(基金)		千円	49,000		94,000		60,000			
	一般財源	千円	36,225	70,288	100	74,124	30,931	22,248	136,000	
12	人件費 (b)	千円	83,640	83,640	83,640	83,640	82,620	82,620	83,640	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	816,765	819,660	900,540	695,583	989,651	730,468	1,245,640	

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	舗装補修マネジメント事業	シート番号	019-002
-------	--------------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	市内の幹線道路等(323km)のうち、MCI(舗装の健全度合いを示す指標)が5を下回る状態(修繕することが望ましい状態)である路線を中心に、約7kmの舗装補修工事を実施した。指標とした舗装補修延長は目標を達成した。健全な舗装の割合を目標値に近づけるよう、引き続き事業推進が必要である。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		舗装補修延長	km	目標値	4	4	4	4
				実績値	9	7	7	
				達成率	225%	175%	175%	
	評価		大変良い	大変良い	大変良い			
	算出方法・設定根拠など		目標値である年4km舗装補修に対して、実施工延長により算出					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		健全な舗装の割合	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	85	87	89	
達成率				85%	87%	89%		
評価		普通	普通	普通				
算出方法・設定根拠など		健全な舗装とは、MCI(舗装の健全度合いを示す指標)が5を上回る状態であること						

### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	舗装補修延長	km	9	7	7
	②	上記①にかかる年間経費	千円	819,660	695,583	730,468
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	91,073,333	99,369,000	104,352,571
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>国費や令和3年度までの時限措置となっている公共施設等適正管理推進事業債を積極的に活用して計画的に事業を推進し、舗装補修延長は目標を達成した。しかし、依然として健全ではない状態の道路もあり、引き続き事業を推進する必要がある。老朽化による事故を未然に防ぐとともに、将来にわたる維持管理コストを縮減することができたため、有効性が高い事業である。今後、更なる効率的な維持管理を行い、コスト縮減できるように、新技術活用等の検討を進める。</p>

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうだったか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	舗装補修マネジメント事業	シート番号	019-002
-------	--------------	-------	---------

≪ V. 点検 ≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 本事業を廃止することで将来にわたる維持管理費が増大する。また、事後保全型の対応では、適切な維持管理ができなくなるにより管理瑕疵等も増え、市民の安全・安心が確保できない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 本事業を休止(延期)することで将来にわたる維持管理費が増大する。また、事後保全型の対応では、適切な維持管理ができなくなるにより管理瑕疵等も増え、市民の安全・安心が確保できない。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 事業規模を縮小すると将来にわたる維持管理費の増大につながる。適切な維持管理のためには、事業規模を維持する必要がある。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 道路は社会経済活動を支える社会インフラであり、社会経済活動を維持するには、適切な道路管理を遂行していく必要がある。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(AI等の新技術活用)	<b>理由・説明</b> 今後、AI等の新技術活用を進めることで、更なる効率的な維持管理手法を確立し、将来にわたる維持管理費の縮減に寄与できる可能性がある。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	事業規模については現状維持で適切な老朽化対策を継続し、将来にわたる維持管理費の縮減を図りながら、維持管理の効率化のためのAI等の新技術活用を検討する。		